

ひがしやまかい　　とうしょうだいじ　みえいどうしょうへきがてん
企画展プレスリリース「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

標記の件につきまして、本書のとおりご案内いたします。

1 展覧会名　　企画展「^{ひがしやまかい}東山魁夷 ^{とうしょうだいじ　みえいどうしょうへきがてん}唐招提寺御影堂障壁画展」

2 会　　期　　平成 29 年 2 月 11 日(土)～平成 29 年 4 月 2 日(日) ※会期中無休

3 展覧会概要 (資料 2～3 頁参照)

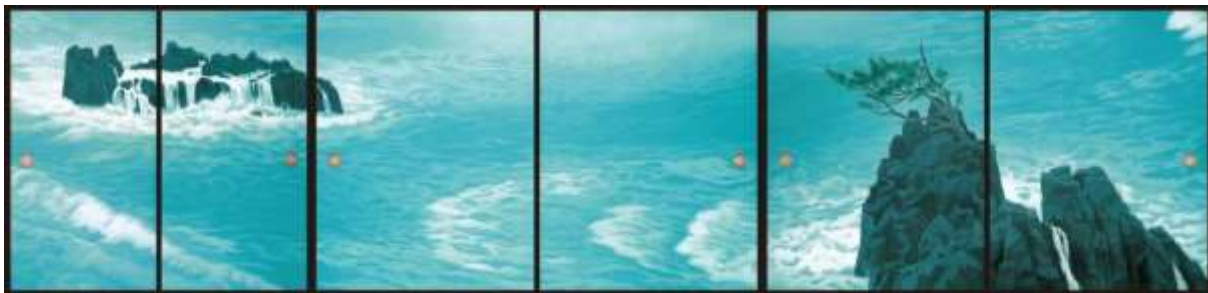
唐招提寺御影堂障壁画は、日本画家東山魁夷が 10 年の歳月をかけて描いた画業の集大成といえる作品です。本展覧会は通常非公開のこの障壁画全 68 面を茨城で初めて公開する貴重な機会です。また、障壁画を描くにあたって、日本と中国各地を巡り取材を重ねたスケッチや下図、試作を紹介し、完成にいたる制作過程をたどります。

4 出品作品 (資料 3, 5 頁参照)

○東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画 全68面

- ・「^{さんうん}山雲」昭和50年(1975) 紙本・彩色・襖(8面), 床, 脇床
- ・「^{とうせい}濤声」昭和50年(1975) 紙本・彩色・襖(16面)
- ・「^{ようしゅうくわんぷう}揚州薫風」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(26面)
- ・「^{けいりんげつしょう}桂林月宵」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(8面)
- ・「^{こうざんぎょううん}黄山曉雲」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(8面)

○スケッチ, 小下図, 中下図, 割出図, 試作など関連作品 45点 ※会期中展示替を行います



唐招提寺御影堂障壁画 濤声(部分) 昭和 50 年(1975) 唐招提寺蔵



唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風(部分) 昭和 55 年(1980) 唐招提寺蔵

《問い合わせ先》茨城県近代美術館

Tel:029-243-5111 / Fax:029-243-9992 / E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当: 企画普及課 稲葉 / 広報担当: 企画普及課 平川

1 展覧会名

^{ひがしやまかい}東山魁夷 ^{とうしょうだいじ}唐招提寺御影堂障壁画展

2 主催等

主催：茨城県近代美術館，日本経済新聞社

特別協力：唐招提寺

協力：長野県信濃美術館 東山魁夷館

後援：水戸市／一般社団法人水戸観光協会／朝日新聞水戸総局／一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会／茨城交通株式会社／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社／毎日新聞水戸支局株式会社水戸京成百貨店／読売新聞水戸支局

協賛：株式会社常陽銀行

3 会期

平成 29 年 2 月 11 日(土)～平成 29 年 4 月 2 日(日) ※会期中無休

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時(入場は午後 4 時 30 分まで)

4 会場

茨城県近代美術館(1 階第 1・第 2 常設展示室)

5 入館料

一般 1,080(980)円／高大生 850(720)円／小中生 480(360)円

※()内は 20 名以上の団体割引料金

※満 70 歳以上の方，障害者手帳等をご持参の方，高校生以下(春休みを除く土曜のみ)は無料

6 展覧会概要(360 文字)

東山魁夷(1908～1999)は、平明な描写の中に深い精神性と豊かな叙情性を湛えた風景画で知られ、没後 16 年以上を経た現在も多くの人々に親しまれています。東京美術学校で日本画を学び、戦後は日展を中心に「残照」(1947 年，東京国立近代美術館蔵)や「道」(1950 年，同)といった風景画を多数発表、また 1968 年に皇居新宮殿壁画「朝明けの潮」を完成させるなど日本画壇を代表する一人として活躍し、1969 年には文化勲章を受章しました。

ことに、10 年もの年月をかけて完成させた唐招提寺御影堂障壁画は、画家^{ひっせい}畢生の大作であり代表作の一つといえるでしょう。本展覧会では、通常非公開の障壁画全 68 面を展示し、その全貌を紹介します。また、障壁画を制作するにあたって日本や中国各地で取材を重ねたスケッチや下図、試作などもあわせて展示し、構想から完成にいたるまで画家が歩んだ足跡をたどります。

【広報文 1】(51 字)

日本画家・東山魁夷の画業の集大成といえる作品「唐招提寺御影堂障壁画」全 68 面を、茨城県で初公開します。

【広報文 2】(109 字)

戦後、国民的人気を誇った日本画家・東山魁夷の画業の集大成といえる作品「唐招提寺御影堂障壁画」全 68 面を茨城県で初公開します。通常非公開の障壁画を間近で鑑賞できるまたとない機会です。水戸の梅まつりとあわせてご覧ください。

【広報文 3】(198 字)

戦後、国民的人気を誇った日本画家・東山魁夷が 10 年を費やし完成させた画業の集大成といえる作品「唐招提寺御影堂障壁画」全 68 面を茨城県で初公開します。また、障壁画を制作するにあたって日本や中国各地で取材を重ねたスケッチや下図、試作などもあわせて展示し、構想から完成にいたるまで画家が歩んだ足跡をたどります。通常非公開のこの障壁画を間近で鑑賞できるまたとない機会です。水戸の梅まつりとあわせてご覧ください。

7 出品点数，章立て

序章 唐招提寺と鑑真和上

唐招提寺の歴史と鑑真和上の足跡をパネル展示により概観します。

I 章 御影堂障壁画

障壁画68面すべてを臨場感あふれる会場でご覧いただけます。

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画 5点(全68面) 唐招提寺蔵

- ・「^{さんうん}山雲」昭和50年(1975) 紙本・彩色・襖(8面)，床，脇床
- ・「^{とうせい}濤声」昭和50年(1975) 紙本・彩色・襖(16面)
- ・「^{ようしゅうくんぷう}揚州薫風」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(26面)
- ・「^{けいりんげつしょう}桂林月宵」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(8面)
- ・「^{こうざんぎやううん}黄山曉雲」昭和55年(1980) 紙本・墨画・襖(8面)

II 章 制作過程

東山魁夷が旅行先で描いたスケッチから作品完成に向けた下図，試作など，制作の道程をご覧いただけます。
スケッチ，小下図，中下図，割出図，試作など関連作品 45点 長野県信濃美術館 東山魁夷館蔵
※会期中展示替を行います

8 展覧会の特徴と見どころ

(1) 東山魁夷の画業の集大成

御影堂障壁画は，多くの苦難を乗り越えて中国から来日し唐招提寺を開基した鑑真に捧げるため，日本の豊かな自然と鑑真の故郷中国の風景をテーマに描いた東山魁夷の画業の集大成といえる作品です。

(2) 普段は見るできない貴重な作品

御影堂は毎年6月6日の開山忌の際，前後合わせて3日間だけ公開されますが，平成27年(2015)から始まった平成大修理のため，今後数年は拝観が叶いません。本展覧会はこの通常非公開の障壁画全68面を，一堂に，しかも間近で鑑賞できる絶好の機会です。

(3) 茨城県で初公開

当館では1999年にも東山魁夷の回顧展を開催していますが，その際この障壁画は出品されておらず，今回が本県初公開であり，茨城でご覧になれる最後のチャンスです。

(4) 鑑真の故郷中国と日本の風景の調和の美

制作は二期に分けられ，第一期として昭和50年に奉納した「山雲」「濤声」では日本の豊かな自然を象徴するように青や緑などの色彩で描く一方，第二期(55年奉納)の「揚州薫風」「桂林月宵」「黄山曉雲」では鑑真の故郷である中国風景を題材にしながら水墨表現に新境地を拓き，全く異なる二つの絵画世界を調和させて鑑真に捧げるという壮大な構想を実現しています。

(5) 障壁画を立体的に展示

展示室内に特設の畳敷きの展示台を設け，障壁画を立体的に展示することで，臨場感あふれる会場でご覧いただけます。

(6) 制作過程を実感

東山は，「山雲」と「濤声」を描くため，北は青森，津軽半島から南は熊本の天草まで，日本の海と山を精力的に巡りました。また3度の訪問を通じて得た中国風景の印象は「水墨でなければ表現し難い」ものだったといえます。このような多くのスケッチや下図を通じ，障壁画の完成に至る制作過程を知ることができるのも，本展の大きな見どころの一つです。

(7) 水戸の梅まつりと一緒に楽しめる

水戸の梅まつり会場である偕楽園と東山魁夷展を開催する茨城県近代美術館は車で5分の距離なので，あわせてお楽しみいただけます。

9 鑑真和上と御影堂障壁画

唐招提寺は奈良市にある律宗の総本山です。奈良時代にいく度もの失敗や苦難を乗り越えて中国から渡来し、仏教の戒律を日本に伝えた鑑真和上が開基しました。その伽藍の奥にたたずむ御影堂は、日本最古の肖像彫刻「鑑真和上坐像」(国宝、奈良時代)を安置するため、明治時代に廃絶した興福寺別当寺院、一乗院の遺構を昭和38年に移築復元したものです。その後、鑑真和上の御心を慰めるため堂内の障壁画を新たに描くことになり、昭和46年、東山魁夷にその制作が託されました。東山は以後10年にわたり、日本と中国の各地を訪れてスケッチを重ね、何度も構成を練り、生涯の全てをかける気持ちでこの仕事に取り組んだのです。

10 東山魁夷略歴

明治41年(1908)	7月8日、横浜で生まれる
大正15年(1926)	東京美術学校(現東京芸術大学)日本画科に入学
昭和4年(1929)	第10回帝展に「山国の秋」が初入選
昭和8年(1933)	東京美術学校研究科修了。ドイツへ留学(昭和10年帰国)
昭和22年(1947)	第3回日展で「残照」が特選受賞、政府買い上げとなる
昭和31年(1956)	日本芸術院賞受賞
昭和35年(1960)	東宮御所壁画「日月四季図」完成
昭和40年(1965)	日本芸術院会員となる
昭和43年(1968)	皇居新宮殿壁画「朝明けの潮」完成
昭和44年(1969)	文化勲章受章、文化功労者となる
昭和50年(1975)	唐招提寺御影堂第一期障壁画「山雲」「濤声」完成
昭和55年(1980)	唐招提寺御影堂第二期障壁画「揚州薫風」「桂林月宵」「黄山曉雲」完成
平成2年(1990)	長野県信濃美術館 東山魁夷館開館
平成11年(1999)	5月6日、死去。従三位、勲一等瑞宝章を贈られる

11 会期中のイベント

(1) 内覧会・オープニングセレモニー

日時：2月10日(金)午後2時～4時30分

内容：セレモニー(テープカット)、企画展鑑賞

(2) 講演会「東山魁夷の生涯と芸術」(仮称)

講師：尾崎正明(当館館長)

日時：3月4日(土)午後2時～3時30分

定員：250名 / 申込：事前申込(来館、または往復ハガキ)、聴講無料

(3) ミュージアムコンサート「凜として～浅春に響くソプラノ～」

出演者：江田真姫子氏(ソプラノ)、山口瑞穂氏(ピアノ)、清水良一氏(バリトン)

曲目：モーツァルト「すみれ」「春への憧れ」他

日時：3月12日(日)午後2時～3時30分(途中休憩有)

会場：地階講堂 / 定員：250名程度 / 申込：事前申込(来館、または往復ハガキ)、参加無料

※その他講演会、美術講座を予定しております。詳細はチラシ等にてご案内いたします。

12 関連情報

京成百貨店で現在も使用されている包装紙は、東山魁夷画伯自らがデザイン、監修したものです。本展覧会の開催にちなみ、同店においてこの包装紙の原画が特別公開されます。

期間：2月16日(木)～2月21日(火)

場所：京成百貨店9階イベントホール

13 問い合わせ先

茨城県近代美術館 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1

Tel:029-243-5111 Fax:029-243-9992 E-mail:fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展示担当：企画普及課 稲葉 / 広報担当：企画普及課 平川

出品作品図版

※1 このページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。

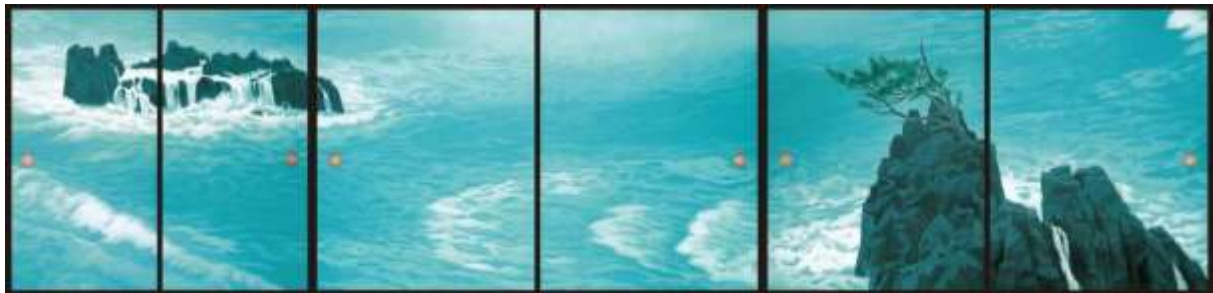
※2 画像には、作品名・制作年・所蔵を必ず入れてください。



1. 唐招提寺御影堂障壁画 ^{さんうん}山雲(部分) 昭和50年(1975) 唐招提寺蔵



2. 唐招提寺御影堂障壁画 ^{とうせい}濤声(部分) 昭和50年(1975) 唐招提寺蔵



3. 唐招提寺御影堂障壁画 ^{とうせい}濤声(部分) 昭和50年(1975) 唐招提寺蔵



4. 唐招提寺御影堂障壁画 ^{ようしゅうくんぷう}揚州薫風(部分) 昭和55年(1980) 唐招提寺蔵